

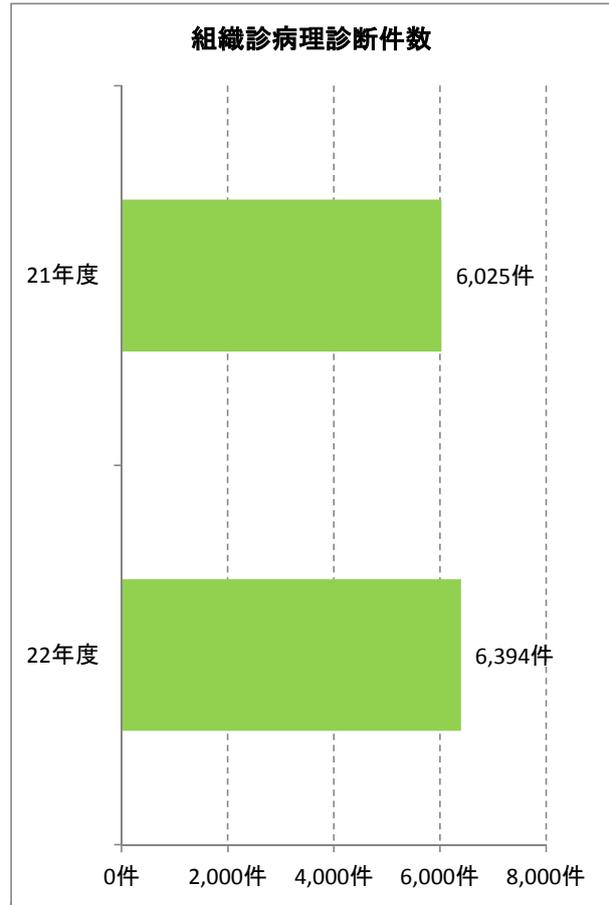
## 17 組織診病理診断件数

### ▶ 項目の解説

大学病院は高度な治療を行うだけでなく、その前提となる診断が適切になされることが肝要であり、正確な診断にも同じ重きを置いています。正確な診断の最終根拠として、病理診断が要ですが、診療全体の中で病理診断が必要となる状況がどの程度あるかを示す指標です。

### ▶ 定義

「N000 病理組織標本作製(T-M)」と「N003 術中迅速病理組織標本作製(T-M/OP)」の算定件数です。  
入院と外来の合計。細胞診は含めません。



## 18 術中迅速診断件数

### ▶ 項目の解説

病理診断は、時として正確で迅速な診断が手術中に必要となることがあり、それに基づいて病巣切除の適否または切除範囲が決められます。

そのためには、限られた時間内に切除された標本を処理し、迅速かつ正確な診断のできる熟練した病理医師と設備が病院内に必要になります。そのような機能を表現する指標です。

### ▶ 定義

「N003 術中迅速病理組織標本作製(T-M/OP)」の算定件数です。

